
令和5年 第1回(定例)新宮町議会会議録(第2日)

令和5年3月3日(金曜日)

議事日程(第2号)

令和5年3月3日 午前9時30分開議

日程第1 一般質問

通告1番 濱田 幸議員 1)文化財・歴史的遺産を活用した取組のさらなる充
実を

本日の会議に付した事件

日程第1 一般質問

通告1番 濱田 幸議員 1)文化財・歴史的遺産を活用した取組のさらなる充
実を

出席議員(12名)

| | |
|------------|------------|
| 1番 安武久美子君 | 2番 温水 眞君 |
| 3番 末吉富美徳君 | 4番 濱田 幸君 |
| 5番 上畝地白馬君 | 6番 西 健太郎君 |
| 7番 大牟田直人君 | 8番 高木 義輔君 |
| 9番 北崎 和博君 | 10番 横大路政之君 |
| 11番 松井 和行君 | 12番 牧野真紀子君 |

欠席議員(なし)

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

議会事務局長 …………… 井上 和広君 議会事務局局長補佐 … 桐島美佐子君

説明のため出席した者の職氏名

| | | | | | |
|-----------|-------|--------|--------|-------|--------|
| 町長 | …………… | 長崎 武利君 | 副町長 | …………… | 吉村 隆信君 |
| 副町長 | …………… | 福田 猛君 | 教育長 | …………… | 小川 隆弘君 |
| 総務課長 | …………… | 太田 達也君 | 地域協働課長 | …………… | 片山 勇二君 |
| 政策経営課課長補佐 | … | 井上 美和君 | 税務課長 | …………… | 尾田 繁男君 |
| 住民課長 | …………… | 堺 好行君 | 健康福祉課長 | …………… | 山口 望美君 |
| 子育て支援課長 | …………… | 高木 昭典君 | 産業振興課長 | …………… | 森 真二君 |
| 環境課長 | …………… | 安河内正路君 | 都市整備課長 | …………… | 西田 大輔君 |
| 上下水道課長 | …………… | 高橋 忠久君 | 会計管理者 | …………… | 末永富士美君 |
| 学校教育課長 | …………… | 森 和也君 | 社会教育課長 | …………… | 桐島 聡君 |

午前9時30分開議

○議会事務局長（井上 和広君） 起立。礼。おはようございます。ご着席ください。

○議長（牧野 真紀子君） おはようございます。配付の日程表により、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1. 一般質問

○議長（牧野 真紀子君） 日程第1、一般質問を行います。通告順に許可いたします。通告1番、濱田幸議員。濱田議員。

○議員（4番 濱田 幸君） おはようございます。4番議員、幸福実現党、濱田幸です。本日は、「文化財・歴史遺産を活用する取組をさらに充実させるには」について質問をさせていただきます。よろしく願いいたします。令和4年11月に久山町議会との合同研修会があり、同町教育課長から「首羅山遺跡と地域づくり」というテーマで講演を受け、この遺跡が自然・環境・人付き合いの場で提供できる拠点となっているということを知りました。首羅山遺跡とは、鎌倉時代に350のお堂があったといわれる中世山岳寺院の遺跡で、久山町久原にあります。2005年から地元の方の協力を得て、本格的な発掘調査が始まり、大陸ゆかりの山寺の痕跡が良い状態で残っていることが分かり、2013年に国の史跡に指定されています。白山神社からの出土遺物は、県指定の文化財として九州歴史資料館に展示されており、薩摩塔と宋風獅子は久山町指定文化財になっております。遺跡というのは保存するだけでなく、その歴史をより多くの町民に知ってもらい訪れてもらうことが重要課題と思っています。この点で、首羅山遺跡における教育課の取組事例は素晴らしいと感じました。6年生が学びの中でICTを駆使して調べ学習をし、学んだことを商業施設のステージと九州国立博物館でプレゼンテーションを行ったそうです。また、首羅山を登りながら児童が遺跡のガイドをするという試みは、私も参加させていただきましたが

地域の方に参加を呼びかけることで、地域の人との関わりづくり、地域づくりになっていると思えました。書画カメラをお願いいたします。

〔書画カメラの映像を投映する〕

これは、登山に参加してもらう人のために児童が作成したものです。こういうデータもしっかりと自分たちで取り込んで、中のほうはこのような一人一人が自分の言葉で遺跡を説明しています。こういう感じで、昔は360のお堂がありましたとか、それぞれの子たちが担当した遺跡のところをすごく細かくガイドをしております。実際、遺跡に登りながらも一人一人がガイドをしてくださって、そのガイドの仕方もただ情報をお伝えするだけではなくて、分かりやすくすごく工夫を凝らして、山を登るときの歩き方も足元に気をつけてとか、そういう触れ合いができるような、そういうふうな指導もされているのかなというふうに感心いたしました。さらに、子どもたちがオリジナルの絵本を作成しております。こちらのほうになるんですけども、こういうふうなちょっと首羅山のことを物語風にして書いております。ご指導いただきながらでしょうけれども、とてもすてきな文になっていましてとても感心いたしました。こういうふうな内容になっています。全て子どもたちが書いています。この絵本は、役場で販売をしているということがホームページにも、すいません、書画カメラを切ってください。

〔書画カメラの投映を中止する〕

役場で販売をしているということが、ホームページに記載されております。私も確認して見ました。自分たちが作成したものが販売されて、多くの人に見てもらえるということは記憶に残るだけではなく、将来に向けての大きな成功体験になるというふうに感じました。そこで、教育長にお伺いいたします。本町にも数々の史跡や歴史的遺産があります。これらから、その当時の背景や人々の思いを学ぶことは情操教育につながり、地域を愛する心が育つと思います。児童生徒に対する教育をさらに推進していただきたいと思っておりますが、本町でのこれまでの取組と今後の方針をお聞かせください。また、担当課だけではなく、町全体で連携を図りながら取り組んでいくことで、町民への周知拡大、地域を巻きこんでのコミュニケーションの推進などの相乗効果が期待できると思うのですが、ご見解はいかがでしょうか。よろしくをお願いいたします。

○議長（牧野 真紀子君） 教育長。

○教育長（小川 隆弘君） 濱田議員の1点目のご質問、本町の史跡や歴史的遺産をとおした子どもの情操教育や地域を愛する心を育てる、これまでの取組と今後の方針について、お答えいたします。本町では、現状といたしまして、数々の史跡や歴史的遺産に触れ、その当時の背景や人々の思いを学ぶ活動等につきまして、各小学校の低学年の生活科や3年生以上の社会科で学ぶとともに、総合的な学習の時間の中で各小中学校においても実施しているところでございます。具体的に申しますと、相島小学校、相島分校では神社仏閣、伝統的な祭り、生活などの「相島の文

化」やタキノダン、鼻栗瀬等の「相島の景観」等について調べ、観光マップを子どもたちが作成するなどして、島の情報を発信しております。また、ここ数年、コロナ禍において実施できておりませんが、相島では小中学生が島ガイドとして、観光客に島の歴史や魅力を伝える活動は以前から継続して取り組んでおります。さらに、先日11月に実施されました「まつり新宮」においても、相島小学校、分校の児童生徒による島ガイドに関する紹介を行ったところ、来場者の方から大きな拍手をいただいたところでございます。他の小中学校でも、新宮町の歴史を学ぶ機会として、シーオーレ新宮にある町立歴史資料館を見学して町の歴史を学んでいるところです。また、歴史や自然を活用した情操教育の場としては、立花山に登ったり、新宮海岸の清掃を行うなど、実践的な活動の中で、地域の未来のために「自分たちにできること」を考え、その成果を学習参観で発表したり、町のホームページに掲載するなど、多くの町民の方に発信するための取組を行っています。このように、全ての小中学校で数々の史跡や歴史的遺産に触れる学習を実施しており、今後も児童生徒が地域を愛する心が育つよう、学習やカリキュラムを作成するなど継続して取り組んでまいりたいと思います。2点目のご質問、「町全体で連携を図っての取組について」ですが、議員がおっしゃったとおり、文化財が町のランドマークとして町民に親しまれるためには、多くの人に「地域の貴重な歴史的遺産」があることを知ってもらうことが重要であると考えます。文化財を活用したまちづくりの取組の一例として、国指定重要文化財である横大路家住宅の保存、保護のために補修を行い、歴史ある建築物の維持に努めています。さらに、町民が気軽に訪れることができ、親しみのある拠点となるよう、横大路家住宅や岩井の水を含めた公園として、周辺整備を検討しており、現在、基本計画を作成しているところです。今後、それぞれの地域にある文化財を活用して、地域コミュニケーションの活性化を図っていくためには、単に文化財に親しむだけでなく、地域の文化を継承していく過程において、地域への誇りや郷土愛を醸成しつつ、文化財を拠点とした交流の場を広げる必要があると思います。そのためには、学校や地域、町文化協会、文化振興財団、おもてなし協会などと連携した取組を行っていきたくと考えております。

○議長（牧野 真紀子君） 濱田議員。

○議員（4番 濱田 幸君） はい。本町でもいろんな取組をしてくださっているというのが分かりました。その地域によって、いろんな史跡や歴史的なものがたくさんありますので、今のところ相島では神社とか、そういう鼻栗瀬とかのそういう観光地のマップをつくったりとか、島の子どもたちが島のガイドをして、観光客の方に喜んでいただいたとかっていうのが本当に私も分かってよかったです。そういうことで、子どもたちが島の生活の中で自分の果たす役割っていうのがすごく子どもたちがすることによって注目を集めて、それがまたその地域を育てていくことにもつながると思うし、またそれが子どもの情操教育、本当につながっているっていうふうに思

います。さらに、これからも続けていただきたいと思ひますし、そのところをますます発展できるように、いろいろ取組をまた考えていただけたらいいなというふうに思ひます。横大路家住宅や立花山はほんと立花城の跡がありますし、私の地元でもございますけれども、立花小学校では立花道雪っていうことで、うちの子どものときにはそういう演劇っていうか、そういうものやっていた記憶もございます。そういうふうにして、地域のほんとにちょっと特色と誇りになっておりますので、その辺りもスポットを当てていただいてしっかりと教育の中にも取り込んでいただきたいというふうに思ひております。そういう担当課だけではなくて、町全体でそういう取組をしたものを発信するっていうことが町民、また町民以外の町外の方へもお知らせ、周知拡大ができていくので、そういうふうな相乗効果があるというふうに思ひておりますけれども、今、そういうふうにして地域の方で取り組んでいただいている、そういう活動を応援して下さっている、そういう団体はどれぐらいあるのでしょうか。

○議長（牧野 真紀子君） 社会教育課長。

○社会教育課長（桐島 聡君） はい。団体さんもいろんな形で存在しておりまして、すぐにここで正確な数字というのはちょっとお答えいたしかねます。確かにおっしゃるとおり、いろんな歴史の会さんですとか、そういったところもいろいろあるようですので、ちょっとお調べしなければいけないかなというふうには考えております。以上でございます。

○議長（牧野 真紀子君） 濱田議員。

○議員（4番 濱田 幸君） 本当に地域の歴史をよくご存じな方たちがたくさんいらっしゃいますし、地域ならではのそういう歴史だけではなくて、そういう文化とか、そういうものを発信していらっしゃる方もいらっしゃると思ひますので、そういうところと本当にもっとつながって、この施策っていうか、それを推進していただけたらいいかなというふうに思ひています。また、子どもの心を育む教育に、より多くの方々、大人が関わっていくということが温かいまちづくりになると思ひます。子どもたちと触れ合うことで、地域の方やお年寄りの方なんかもまた新たな生きがいつくりっていうものにもなると思ひますので、本当にその課を越えて、町行政全体としても取り組んでいただきたいというふうに思ひます。発信の仕方としては、学校がこういうふうなことをやりますよっていうふうに発信するっていうのは分かっているんですけども、それ以外の発信強化の方向としてホームページとか、広報誌とか、そういったものを利用して発信をされてあると思ひます。で、今ホームページもリニューアルをされまして、新たになっていっているということで、他の市町村では結構、ホームページから飛ぶアプリ、LINEアプリなどでそういうものを発信されているところも結構ありますので、そういったところも検討していただきたいというふうに思ひますが、いかがでしょうか。

○議長（牧野 真紀子君） 社会教育課長。

○社会教育課長（桐島 聡君） はい。そうですね。おっしゃるとおり、その発信の方法というのはかなり今ですね、充実しているかなというふうに考えております。その中で、社会教育課のほうでは社会教育のほうでフェイスブックのほうを持っています。そういうのもまたどんどん活用していったって、プッシュ型の発信というのも当然していかなければいけないかなというふうに考えておりますので、また発信の方法も検討させていただきたいというふうに考えております。以上でございます。

○議長（牧野 真紀子君） 濱田議員。

○議員（4番 濱田 幸君） 昨日、町長のお話で新宮町、幸福度ランキングで福岡で1位、そして全国でも8位っていうふうにお伺いしました。これは本当に新宮町民にとってとてもうれしいことですし、この順位を守っていただければと。本当にそういうふうな子どもの教育とか、大人もそういうふうなことで関わっていったって、文化を深めていくっていうところで、そういう幸福度も確かに上がっていくと思っております。町民の誇りを育て、町のステイタスが上がっていくものと思っております。もっと魅力的な町にするために、しっかりと推進をしていただきたいと思っております。先ほど今後の方針というのをお聞かせいただきましたので、しっかりと推進をしていただきたいと思っておりますが、そこに向けての必要事項っていうか、今のところこういったものがちょっと必要かなというふうに思っているところとかあればお聞かせください。

○議長（牧野 真紀子君） 教育長。

○教育長（小川 隆弘君） ありがとうございます。子どもの情操教育、そういうのを高めていくために今議員がおっしゃるとおりのご指摘だと思います。昨年の12月に、県の地域とともにある学校づくりという研修会が篠栗の教育センターで行われまして、県下で小中学校で1つだけ立花小学校が発表してくださいというふうに推薦を受けて発表させていただきました。その中は、もう全て立花小学校も150周年を迎えたんですが、その中で子どもたちと歴史的なそういった立花山も含めた取組、それと地域の方と連携した取組、そういったところが発表なされました。そういった意味で、県下でも他の市町からモデルにされるような取組を新宮町内の立花小学校やっってもらっているところがございます。そういった取組を続けながら、新宮町はおかげで海あり山あり、また大規模校あり小規模校ありで、いろんな特色のある学校です。それぞれの学校に合わせた取組、またそれぞれの地域に合わせた取組を推進していければと考えております。すいません、ちょっと長くなりますが実は、ご質問を受けて資料を調べたんですが、こういう楽しく学ぶ昔と私、私たちのまち新宮というのが、これが平成11年に副教材として作成していただいています。その編成委員の中にも当然、町の職員もいますし、各小中学校の職員代表が全員出て、それとすいません、町の文化財保護委員さんが名前をそろえてつくっていただいている。これ、もう本当すごい貴重な資料、ご苦労があったと思っています。これ平成11年ですけども、去る平

成31年にその改訂版をつくっていただいて、またその中に今先ほどおっしゃいました立花山の歴史とか、新宮町全体のそういう歴史を述べていただいて、そして小学校の高学年、それと中学校の1、2年生に副教材としてこれ活用させていただいています。そういった営々と続く新宮町のこういう文化財、歴史に関わる皆さんの知恵をこうしてつくっていただいた資料がありますので、学校の中でそれを引き続きやりながら、学校は当然地域と連携したコミュニティスクールを推進しておりますので、そういったのをさらに進めていくことで、議員おっしゃるような、そういった子どもの心、また地域と連携を進めていければと考えております。

○議長（牧野 真紀子君） 濱田議員。

○議員（4番 濱田 幸君） そうですね。私たちも本当新宮町民として、改めてまた新宮町の歴史的な遺産、そういったものを勉強して、また引き継いでいきたいなというふうに思いました。発信力をあげていけば新宮町は宝の山があると思っておりますので、その情報発信をしっかりとやって、これからも文化を広めていきたいなというふうに思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。これで、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○議長（牧野 真紀子君） 以上で、一般質問を終わります。

○議長（牧野 真紀子君） お諮りいたします。本会議の会議中、誤読などによる字句、数字等の整理訂正につきましては、会議規則第44条の規定により、議長に委任していただきたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（牧野 真紀子君） ご異議なしと認めます。よって、誤読などによる字句、数字の整理訂正は議長に委任していただくことに決定いたしました。これをもちまして、本日の日程を終了し、散会いたします。お疲れさまでした。

午前10時00分散会
